

株式会社 RSK 協賛

燕京重奏団

日中文化交流コンサート



Program

アイネ・クライネ・ナハトムジーク k.525
W.Aモーツァルト (五重奏)

チェロとコントラバスのための三重奏曲第一、三楽章
G.ロッセーニ (三重奏)

ツィゴイネルワイゼン
サラサーテ (ヴァイオリン独奏)

ピアノ五重奏曲「晴」Op.114 第3、4、5楽章
F.ショーベール (五重奏)

「三泉映月」
華彦钧 作曲 (二胡独奏)

弦楽セレナーデ Op.48 第三楽章
チャイコフスキー (五重奏)

鴻雁 (ホシ イェン)
張宏光、段方通編曲 (チェロ独奏)

「春色を迎え、人間界に変革を」中国京劇曲より
陳剛 作曲 (ヴァイオリン三重奏)



特別ゲスト
武 楽群 (WU LEQUN)

2021年 1月17日 (日) 上野奏楽堂 重要文化財
旧東京音楽学校奏楽堂

開場 18:00 開演 18:30 チケット代: 3000円(全自由席)

【主催】 亜細亜国際交流株式会社

【後援】 中華人民共和国駐日本国大使館 文化処 在日中国企業協会
一般社団法人 亜細亜国際芸術交流協会

【協力】 在日中国企業協会 宣伝教育委員会・派出機構協会

チケットご予約／お問い合わせ

亜細亜国際交流株式会社 TEL: 03-6804-6879

携帯: 090-3522-3154 (担当: 小島)



住所: 東京都台東区上野公園 8 番 43 号 TEL. 03-3824-1988

Profile



土屋 杏子 (第一ヴァイオリン)

東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者。神奈川県逗子市出身。東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修了。

第48回鎌倉市学生音楽コンクールヴァイオリン部門第1位、第10回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、併せて審査委員長賞受賞。ドイツにてポーランド室内フィルハー

モニー管弦楽団との共演や小澤国際室内楽アカデミー奥志賀への参加、藝大室内楽定期演奏会への出演やライブツィヒ・カルテット、ゲヴァントハウス四重奏団の公開レッスン受講など、ソロ、室内楽奏者としても積極的に活動している。

藝大同期生による弦楽アンサンブル「TGS」メンバー。

これまでにヴァイオリンを前澤均、神代恭子、玉井葉採、松原勝也の各氏に、室内楽を山崎伸子、花崎淳生、松原勝也、市坪俊彦、川崎和憲の各氏に師事。



黄原 亮司 (チェロ)

元 東京交響楽団チェロ奏者。1992年 東京芸術大学大学院修士課程修了。

故堀江 泰氏、三木 敬之の各氏に師事。

1994年 J T音楽賞を受賞し、1995年 アフィニス文化財団の海外研究員として渡米。ヒューストン大学、ジュリアード音楽院に留学し、ラズロ・バルガ氏に師事。帰国後、東京、京都、

福岡、沖縄など各地で、リサイタルを開催し好評を得る。2002年文化庁の後援を受け、北京にてリサイタル、国立中国音楽院マスタークラスの公開レッスンを開催。また中国音楽院にてマスタークラスの公開レッスンを開催。現在武蔵野音楽大学特任准教授、国立中国音楽院客員教授。ソロ、室内楽、CM など国内外で積極的な演奏活動を行う。

今までに8枚のCD、ドレミ楽譜出版よりDVD「チェロ超入門」、教則本「チェロ初歩の初歩入門」をリリース。



安田 修平 (コントラバス)

東京交響楽団コントラバス奏者。北海道札幌市生まれ。12歳よりコントラバスを始める。

2000年、北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽科卒業。1999、2000年 P M F アカデミー

オーケストラに参加し、ヘルベルト・マイヤー、ミラン・ザガート(ウィーンフィル)、シュテファン・トロモントージ(サンフランシスコ交響楽

団)各氏のレッスンを受講。2002年より2年間ウィーンに留学し、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団ソロコントラバス奏者のヘルベルト・マイヤー氏に師事。2003年、ヨーロッパフィルハーモニー管弦楽団に参加し、欧州各地での演奏会に出演。帰国後、リポートセミナー in トナム 2004、2005に参加。2007年、東京交響楽団に入団。コントラバスを藤澤光雄、ヘルベルト・マイヤー、吉田秀の各氏に師事。東海大学芸術学科非常勤講師。



陳 金 (ヴァイオリン)

4歳よりヴァイオリンを始める。11歳、北京市文化局主催によるジュニア音楽コンクール全国大会でグランプリ受賞。第29回日本クラシック音楽コンクール優秀賞。第3回日中国際芸術コン

クール最高位。第21回日本演奏家コンクール全国大会入選。中央民族大学音楽院にて姜素民氏に師事。2016年渡日、東京音楽大学に入学。

東京音楽大学大学院修士課程修了、現在2020年度神林財団法人奨学生として、同大学院博士後期課程在籍。アジア・CPE バッハ・アンサンブルのメンバーを務める。

ヴァイオリンを荒井英治、東彩子の各氏に、室内楽を鈴木秀美、木野雅之、菊田雅治の各氏に師事。指揮法を野口芳久氏に師事。英国王立音楽アカデミーの Philippe Honoré 教授によるマスタークラスを受講、好評を得る。2020年12月、東京音楽大学100周年記念ホールでヴァイオリンリサイタルを開催する予定。

現在はソロ、室内楽、オーケストラなど、国内外で幅広く演奏活動を行っている。



胡 芊芊 (ピアノ)

4歳からピアノを始める。陳為民、尹鷹に師事。期間中、多数の青少年コンクールと公演に参加。

2015年に上海音楽学院に入学し、王慶教授に師事。在学中に龔 雷、Manfred Fock、Odon Raczの授業に参加；第5回 Kawai 国際ピアノ

コンクール上海地区一等賞を獲得。また在学中、

チェロの仕事部屋に長い間ピアノの伴奏を担当；

イギリスの王立音楽大学のピアノ実技検定を受験。また中国音楽学院管弦科の学生コンサートに何度も共演を果たした。2019年7月同大学を卒業後、日本に留学。武蔵野音楽大学の重松聡教授に師事。



三島 沙帆 (ヴィオラ)

5歳よりヴァイオリンを長岡秀子氏に師事。13歳の時、ヴィオラに転向。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部を卒業。

2003年 JASTA STRING FESTIVAL の公募ソリストに選ばれ、コンサートに出演。

2004年、2005年、イギリスの潮水地方音楽祭に奨学生として参加、教会でのコンサート等に出演。

2006年、2010年、ヴィオラスペース公開マスタークラス、2008年、Phoenix OSAQA 弦楽四重奏公開マスタークラスを受講。

2010年、緑区民音楽祭新人演奏会オーディションで優秀賞を受賞、新人演奏会に出演。

これまでにヴィオラを大野かおる、菅沼準二、川崎和憲の各氏に、室内楽を澤和樹、林俊昭、久合田緑、山口裕之の各氏に師事。

2013年から2年間、新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員を務める。現在フリー奏者として、オーケストラを中心に室内楽、レコーディングなどで活動中。



武 楽群 (二胡)

NPO 法人日本二胡振興会会長・中国音楽学院国楽学部客員教授・中国民族管弦楽学会胡琴專業委員會理事・中国音楽家協会二胡学会理事。

「二胡縁 in 東京」、「二胡縁 in フランス」、「二胡縁 in 上海」、「二胡縁 in 北京」、「二胡縁 in 上海万博」などの総合プロデューサー。

著書《日本人のための二胡教則本》、《CD 模範演

奏&カラオケ付二胡で奏でる名曲集》、《二胡で奏でるモーツァルト模範演奏&カラオケ CD 付》、《絶対二胡で弾きたい！POPS30曲》、《絶対二胡で弾きたい！クラシック38曲》、《絶対二胡で弾きたい！美空ひばり40曲》、《絶対二胡で弾きたい！昭和のうた50曲》、《絶対二胡で弾きたい！スタジオジブリ40曲》など、多くの著作は日本全国で好評発売中。

“清風吹歌入空去（清風歌を吹いて空に入り去り）、歌曲自繞行雲飛（歌曲は自づから行雲を繞って飛ぶ）” 日中の文化芸術交流は両国の友好往来に欠かすことができません。我々は音楽の力をもって助けられるのです。困難を共にし、励まし合い前進しましょう！
在日中国企業協会宣伝教育委員会は本公演の円満なご成功をお祝いします！